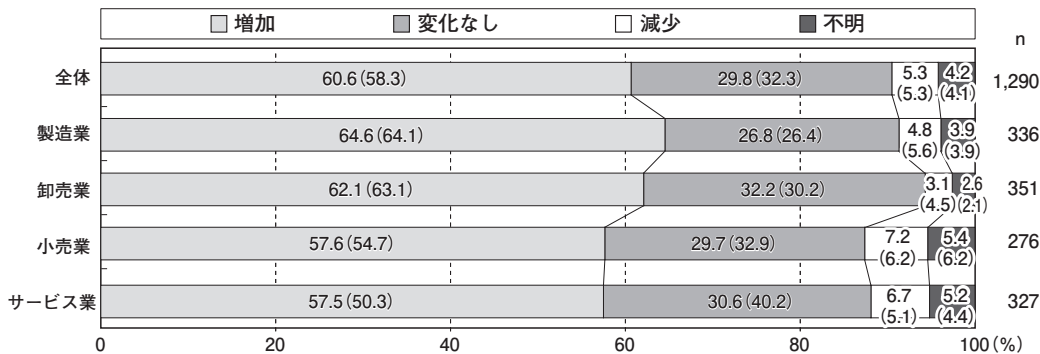


事業活動におけるコストの変動

1. コストの変化（前年同月比）

前年同月と比較した生産や販売、サービス提供に要するコストの変化を全体でみると、「増加」が60.6%（前回調査58.3%）と最も高く、「変化なし」が29.8%（同32.3%）、「減少」が5.3%（同5.3%）の順で続いた。

図表6 コストの変化（前年同月比）



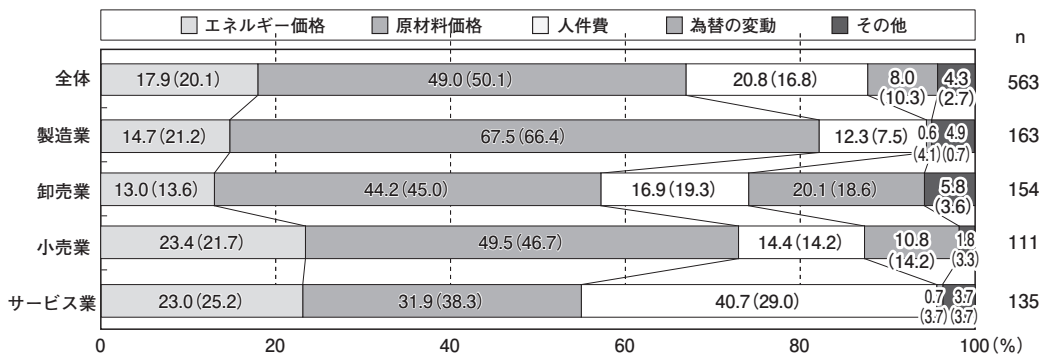
注) 無回答を除き集計。()内は前回調査(令和5年7月)の数値。
四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

2. コスト増加の最大の要因

生産や販売、サービス提供に要するコスト増加の最大の要因を全体でみると、「原材料価格」が49.0%（前回調査50.1%）と最も高く、「人件費」が20.8%（同16.8%）、「エネルギー価格」が17.9%（同20.1%）、「為替の変動」が8.0%（同10.3%）の順で続いた。

業種別にみると、製造業は「原材料価格」が67.5%（同66.4%）と最も高い。他の業種に比べて卸売業は「為替の変動」が20.1%（同18.6%）、小売業は「エネルギー価格」が23.4%（同21.7%）、サービス業は「人件費」が40.7%（同29.0%）とそれぞれ高い。

図表7 コスト増加の最大の要因



注) コストの変化（前年同月比）（図表6）で「増加」と回答した企業のうち無回答等を除き集計。
()内は前回調査(令和5年7月)の数値。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。